

2020(令和2)年度 関西保育福祉専門学校
第1回教育課程編成委員会報告

本校の教育課程編成委員会設置要綱に基づき設置した教育課程編成委員会において、第1回委員会を開催いたしましたので、

1. 開催日時 2020(令和2)年10月13日(火) 15:00~17:00
2. 開催場所 関西保育福祉専門学校 校長室
3. 出席者

【委員】

名前	所属等	備考
北野 幸子	神戸大学 人間発達環境学研究科 准教授	出席
富奥 眞二	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会 事務局長	出席
赤井 祐	社会福祉法人聖隷福祉会 宝塚せいれいの里 ケアサービス課 課長	欠席
浅田 尚子	尼崎市立西長洲保育所 所長	出席
北島 孝通	幼保連携型認定こども園庄内こどもの杜幼稚園 副園長	出席
濱田 洋行	社会福祉法人協同の苑特別養護老人ホーム ケイメゾンときめき 施設長	出席
細田 明子	関西保育福祉専門学校 教頭	出席
藤井 和子	同上 教務委員長	出席
藤田 千波	同上 保育科学科長	出席
尾崎 朋子	同上 介護福祉科学科長	出席
村田 健治	同上 保育科教員	出席

【オブザーバー】

濱名 篤	学校法人濱名山手学院理事長 関西国際大学学長	
本田 あけみ	関西保育福祉専門学校校長 関西国際大学経営学部教授	

4. 概要

- (1) 校長あいさつ
- (2) 理事長あいさつ
- (3) 委員長を選出

設置要綱により、藤井和子教務委員長が選出された

(4) 報告事項

1) 法人合併について

■ 学校から資料に基づき説明

2) これまでの教育課程編成委員会からのご意見とその対応について

■ 学校から資料に基づき説明

・1年生は初期演習において、「知のステップ」を活用し、スタディスキル学習を行っている。

- ・実習のルーブリックの見直しをし、事前事後指導を充実させている。
- ・教育課程の見直しを行い、2021 年度より情報活用能力育成のための教科を取り入れるようにしている。

3) 学校の現状について

■ 学校から資料に基づき説明

- ・指定校 1 次までの出願状況の推移について、保育科は増えてきているが、介護福祉課は厳しい状況である。
- ・オンラインによる個別の入学相談会をしている。
- ・今年度はコロナの影響で、4・5 月にアピールできなかった。6 月から視覚に訴えるようにビデオ等を取り入れたり、広報でおそろいの T シャツを制作・着用しアピールしている。

□ 委員からの意見

- ・今後の見込みは?
→介護福祉科は留学生確保のため、日本語学校を重点的に訪問し、アピールしていくが、施設側も就職採用の見込みがないようである。

(5) 協議

【2020(令和2)年度の取り組み】

1) 学校経営重点目標並びに事業計画について

■ 学校から資料に基づき説明

2) 学校における新型コロナウイルス感染症対応について

■ 学校から資料に基づき説明

- ・コロナの影響で、夏休みが短くなる。
- ・4月27日～5月29日までオンライン授業を行う。その際、オンライン授業について説明を行ってから授業を開始した。
- ・パソコンを所有している学生が少なく、スマートフォンで授業を受けており、不便さを感じる学生が多かった。パソコンの必要性を感じているが、経済的に購入するのが難しい学生が多い。
- ・受講理解度で半分以上が理解できたとなっている。
- ・今後の課題として、オンライン授業でのコミュニケーションの取り方やグループ分けの配慮、時間割の作り方、教員の技術力アップ等を考えて研修会等を行う。
- ・2021 年度より、新入生にはタブレットを一人一台購入していくことを薦めていく。
- ・学校の ICT 環境も整えていく。2021 年度より、現場に沿ったスキルを身につけられるように、授業の中で ICT の活用を入れていく。

□ 委員からの意見

- ・理解度は半分強でよいと評価できるか。
→3割近くが理解できていないことは、今後の履修につながるので対策をしていかないといけない。
- ・神戸大学は、今現在も遠隔授業を行っている。1・2年生は、パソコン必携となってい

る。3・4年生の一部はスマートフォンで受けている。3～4人家族家庭では、Wi-Fi環境整備も必要である。対面で授業できないことで、このままで実習に行けるのかという不安はある。その中で、模擬保育を行った教員もいる。実践性の担保はどうするかなど、実施して見えてくる壁もたくさんある。

- ・社会福祉協議会より、パソコン購入等の貸し付けができる。資金の使い道は問わないので声を掛けていただければよい。1回切りで3か月ごとの貸し付けがある。非課税の方は償還免除となる。現在尼崎市内で2%の人が使っている。全国の社会福祉協議会で行っている。収入減ならば、留学生も対象となる。

- ・スマートフォンやタブレットがない学生はいないのか。

- 全員スマートフォンは持っている。通信環境が整わない学生に対しては学校で個々に対応していった。

3) 保育科の取り組みについて

① 教育課程の開設について

■ 学校説明

- ・教育課程変更の申請書類を作成し、12月には文科省に変更申請する予定である。保育士養成施設学則変更は9月に申請済みである。

- ・新設教科として、「ICTの活用」を入れている。教育・保育現場でのパソコン活用の現状を踏まえてICTの活用技術が身につくように取り組む。「特別支援教育・保育概論」は、現在行っている特別支援教育と障害児保育を合わせて学ぶ科目としている。「基礎演習」では、大学で活用している「知のステップ」を使用し、学習技術の基礎能力を養っていく。

- ・保育に必要な技術面を磨いていくようにする。

□ 委員からの意見

- ・特別支援教育では、障害の特性を理解する

- ・愛着障害も対象となる。ソーシャルワーカーを含めて、チームで対応することの重要性を指導する必要がある。

- ・5領域の指導は充実していると思われる。模擬保育もあり、理論と実践と融合されている。指導法では、子どもの多様性については、特別支援の個に応じた対応の視点を含めていく。接続期の視点は必要だが、経験主義を中心に置く実践となるよう、子どもの発達、試行錯誤や探究する姿、興味関心をしっかりと踏まえていく。情報機器の活用や実践的なものを授業と関連付けた形で取り入れていく。

- ・「ICTの活用」新しい学びと考え方をする時期である。保育の動画配信を共有もできる。現場の先生ともつながれる。学び方ややり方が増えてくる。

- ・公立保育所では、ICTの活用は進んでいない。研修で保育のドキュメントを撮影し、検証することに使用している。

- ・子どもと共に触れる機会は大事である。動画やオンラインでは、その場の雰囲気や空気感は伝わらない。ICTとの実体験と併用がよい。

②2020年度の実習について

■ 学校説明

- ・コロナ感染症拡大の影響で、実習にも影響が出ている。
 - ・施設実習では入所施設の受け入れが難しく中止するとの連絡がはいっている。
- 通所施設の方は実習を受け入れるとのことで、1施設3名まで受け入れてくれている。
- ・教育実習では、幼稚園協会の方で実習を断られたら相談に乗りますと対応していただいている。

4) 介護福祉科の取り組み

■ 学校説明

- ・実習 I-1 の実施に苦慮した。7件受け入れを断られたため、割り振りが大変になった。
- ・実習籍の条件に対応していく必要がある。

□ 委員からの意見

- ・コロナ禍の中で、イレギュラーな対応をしていかなければならないので、工夫した対応が求められている。
- ・学校での状況を実習先に伝えてもらえれば配慮できることもある。
- ・学校と施設とより密に連携をとっていくと、足りないところをサポートしていける。
- ・対人援助職としてのコミュニケーション力の育成に関して、様々な機会を提供できると考えている。
- ・高齢者施設においても、複合的な問題を抱える家庭、家族が増えてきている。関係機関との連携が求められるようになっていることを馬何んでおいて欲しい。

(6) 事務連絡